

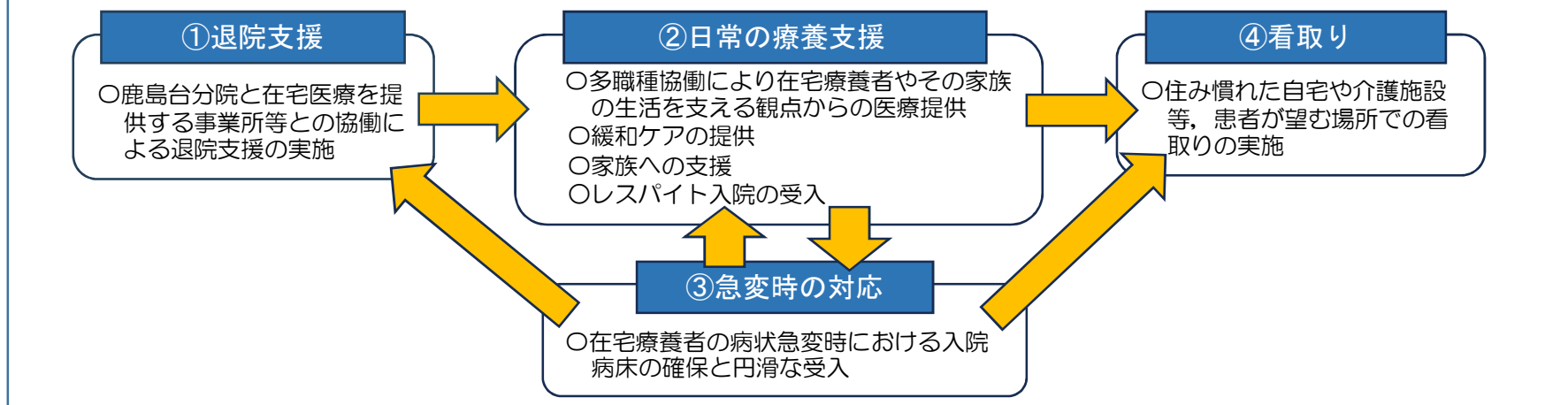
「ときどき入院ほぼ在宅」の支援と実現に向けた鹿島台分院の取組み

令和5年10月28日、大崎地域1市4町において「医療提供体制の確保に係る連携協約」を締結したことを踏まえ、鹿島台分院においても、周辺地域の病院や診療所又は介護施設等と緊密な連携のもと、**令和6年4月1日から**以下のことに取組みます。

1 在宅医療を支援する体制

これまで同様、地域包括ケア病床を効果的に運用して在宅復帰を支援するとともに、急変時の対応も含め、新たに在宅等による日常の療養を支援する体制を構築し、在宅医療の充実を図ります。

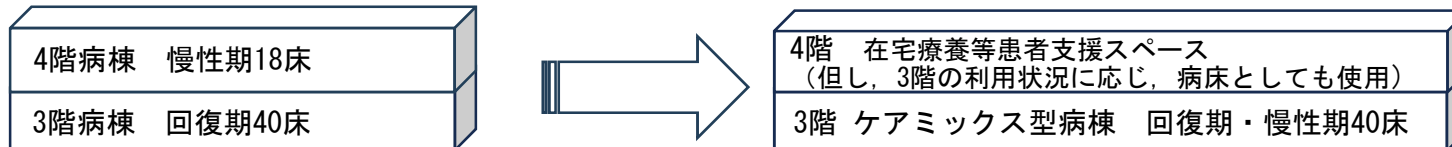
「ときどき入院ほぼ在宅」の実現に向けたサイクル



2 ケアミックス型病棟の弾力的運用

涌谷町国民健康保険病院や美里町立南郷病院等と連携を図り、療養病棟と一般病棟を1フロアに集約した「ケアミックス型病棟※」を運用します。病床は、40床を基本としながらも、利用状況を踏まえて病床数を調整できるように、弾力的に運用します。在宅医療支援と併せて行うことで、在宅復帰・療養まで切れ目のない医療を提供します。

※ケアミックス型病棟・・・回復期と慢性期等、複数の病床機能に対応している病棟



3 外来診療の拡充

かかりつけ医として総合診療機能を最大限発揮し、併せて利便性の向上を図るため「予約制」「オンライン診療」「初期救急への柔軟な対応」に取り組めます。